

【明石】明石市立天文科学館、明石市立文化博物館、魚の棚商店街、明石城
子午線のまち・時のまち「明石」を訪ねて

定員：20名



明石市立天文科学館

(※画像1)

明石市は、日本の時刻の基準となる東経135度子午線が通り、「時のまち」として知られています。また、豊かな漁場「明石海峡」ならでの、鮮度の高い美味しい魚介類が楽しめる「食のまち」でもあります。訪問する天文科学館や文化博物館には「時のまち」明石の歴史や文化を楽しく学べる仕掛けがいっぱい。「十二単の大和撫子」から「あのご当地ヒーロー」まで参加者を大歓迎!? きっとみんな明石を好きになる。記憶に残る明石の旅が、待っています。

行程

※行程は予告なしに変更することがあります

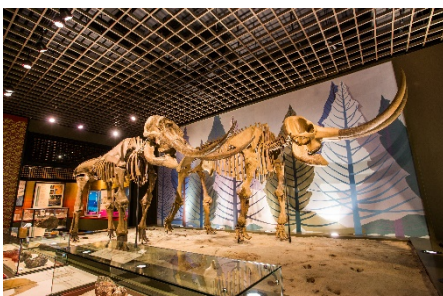
9:30 (集合) 京都駅八条口 貸切バス乗降場	=====貸切バス=====
11:00 - 12:30 明石市立天文科学館 見学	=====貸切バス=====
12:45 - 14:00 魚の棚商店街 見学、昼食徒 歩.....
14:15 - 14:45 明石城 見学徒 歩.....
15:00 - 16:00 明石市立文化博物館 見学	=====貸切バス=====
17:30 (解散) 京都駅	

明石市立天文科学館：子午線上に建設された時と宇宙をテーマにした科学博物館である。建物は国の登録有形文化財であり、教科書にも紹介されている。現役で日本最古のプラネタリウムが人気である。

明石市立文化博物館：明石の歴史と文化を「自然環境と人々の暮らし」と題して8つのテーマで紹介する常設展。多数の化石が出土したアカシゾウ骨化石や、明石で発見された「明石原人」の骨などの注目展示がある。

魚の棚商店街：明石漁港で水揚げされた「昼網（ひるあみ）」と呼ばれる新鮮な魚介や海産加工品を扱う店を中心に、約110店舗が店を構える。明石ダコや明石鯛など、明石のブランド魚介を求めて訪れる客が多い。

明石城：今年（2019年）に築城400周年を迎えた。現存する2基の三重櫓（やぐら）は国の重要文化財に指定されている。見どころは、350m続く高さ20mもある高石垣。「日本100名城」のひとつに数えられる。



明石市立文化博物館

(※画像2)



魚の棚商店街

(※画像3)



明石城

(※画像4)